

# MFJTR トライアル競技 操作マニュアル

第4版 2019年5月28日

第3版 2016年5月10日

第2版 2016年1月20日

初版 2015年10月1日



一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## 目次

更新履歴 .....	2
1. はじめに .....	3
1-1. 主な変更点 .....	3
1-2. 動作環境 .....	3
1-3. プログラムの起動 .....	3
2. トライアル競技の画面 .....	5
2-1. 種目、クラス、レギュレーション .....	5
2-2. 減点スコアのカスタム設定 .....	5
2-3. パンチカード投入 .....	7
2-4. カードの一部が判断できないとき（青い色のメッセージ） .....	8
2-5. 減点の読み取り .....	9
2-6. 減点の削除 .....	9
2-7. 同減点者の順位決定 .....	10
2-8. 起動時に出るメッセージ .....	11
2-9. 「Tr98 トライアル競技」を自動起動する .....	12
2-10. エラー画像を「Tr98 トライアル競技」終了時に削除する .....	13
2-11. DOS 窓を隠す .....	14
2-12. カード読み取りエラー .....	15
2-13. 減点のマニュアル入力 .....	16
2-14. 競技の終了を簡単に知る .....	17
2-15. 採点カードにゼッケンをパンチするとき .....	18
2-16. 読み取る画像サイズを制限する .....	19
2-17. リザルトを印刷する .....	20
2-18. 順位成績をエクセルに転送 .....	22
2-19. 順位成績ファイル作成（Tab、カンマ区切り） .....	23
2-20. Web 報告エントリー CSV 出力 .....	24
2-21. Web 報告成績結果 CSV 出力 .....	27
2-22. トライアル減点の記号 .....	30
2-23. 失格者の指定方法 .....	31

## 更新履歴

第 2 版	2016/1/20	現状の MFJ トライアル競技のクラス名称へ変更
第 3 版	2016/5/10	メニュー→「Web 報告エントリー CSV 出力」を追加
〃	〃	メニュー→「Web 報告成績結果 CSV 出力」を追加
〃	〃	メニュー→「所要時間電卓」を追加
第 4 版	2019/5/28	タイムペナルティ失格の値（分）を追加 P.5
〃	〃	同点でクリーン数、1 点,2 点,3 点の数が同じでありスタートからゴールまでの時間が秒まで同じ場合、「同着とする」を追加 P.10
〃	〃	「失格者」の指定方法を変更 P.31
〃	〃	

## 1. はじめに

### 1-1. 主な変更点

- ・新しいパンチカード読み取り装置として市販の安価なスキャナ富士通 ScanSnap S300/S1300i を使用します。
- ・従来から使用していた光学式パンチカードリーダーも変わらず使用できます。
- ・対応できるクラス数が最大 4 クラスから 6 クラスに拡大しました。
- ・ペナルティをタイムペナルティと追加ペナルティに分けました。また、どのラップで発生したか分かるように入力画面とリザルトを変更しました。
- ・“リタイア”者についてもリザルトに載るようにしました。
- ・“失格”を手入力で行なえるようにしました。リザルトにも“失格”として載るようにしました。
- ・本部への Web 報告（エントリーと成績結果）用 CSV ファイルを出力できるようにしました。
- ・スタートからゴールまでの所要時間計算電卓機能を別プログラムで配布しました。

### 1-2. 動作環境

OS WindowsXP, Windows7, Windows8/8.1, Windows10

メモリ 2GB 以上

パンチカード読み取り装置として

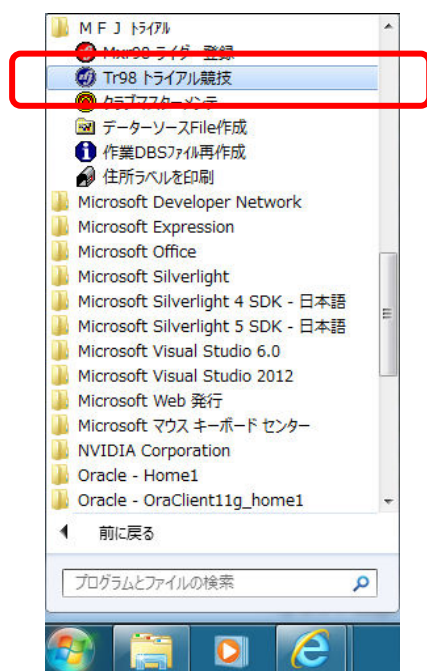
スキャナ富士通 ScanSnap S300, ScanSnap S1300i または従来とおりの光学式パンチカードリーダー  
プリンタ 各種使用可

専用パンチカード 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）から購入可能

### 1-3. プログラムの起動

デスクトップ画面の「Tr98 トライアル競技」アイコンを選択して開きます。

WindowsXP や Windows7 のようにスタートメニューがある場合、MFJ トライアル→Tr98 トライアル競技を選択します。



デスクトップアイコン

スタートメニュー

## 起動直後の画面

The screenshot shows the 'Trial98' application window. The main area contains two data tables and a lap timing table.

**Left Table:**

順位	セクケン	氏名	減点	クーン	G計	C計
20セクション / 4ラップ°						

**Right Table:**

選手数:0 21:18:39

セクケン	氏名	1L	2L	3L	4L
1Lap 2Lap 3Lap 4Lap					

**Lap Timing Table:**

失格

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	timeP	追加P	減点	クーン
1Lap																									
2Lap																									
3Lap																									
4Lap																									

## 2. トライアル競技の画面



大会ファイル（「大会名.mxr」のファイル）を開くと、その大会にレギュレーションが設定されていない場合は下図を表示しますので、各設定を行なってください。

### 2-1. 種目、クラス、レギュレーション



TR98 種目、クラス、レギュレーション

種目名 (なし)

クラス名、セクション、ラップ

パンチ位置	エントリークラス名	セクション数	ラップ数
クラス①	(なし)	20	4
クラス②	(なし)	20	4
クラス③	(なし)	20	4
クラス④	(なし)	20	4
クラス④+①	(なし)	20	4
クラス④+②	(なし)	20	4

レギュレーション

減点数(タイムペナルティおよび追加ペナルティを含む)が少ない者を上位  
同点が生じた場合、0点が最も多い者を上位  
依然として同点だった場合「1点が最も多い者、2点が最も多い者、3点が最も多い者」という順序で判断する。  
それでも同点だった場合、順位は空白で表示するので手入力により順位を決定する。  
条件は少ない所要時間(秒単位)で完走したライダーを上位とする。  
競技監督・計時長の相互確認により決定のこと。

10分を越えるタイムペナルティは失格とする

ゼッケン01~099を先に表示

元に戻す

OK キャンセル

種目名にトライアルを選択

クラス①～④+②までパンチカードに設定するクラス名を選択します。

(例)パンチカードの①を国際A級スーパーとする時は左図のクラス①を国際A級スーパーにします。

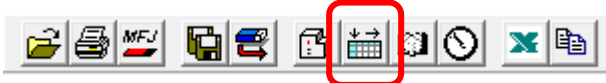
セクション数およびラップ数は各クラスの競技に合わせて設定します。

タイムペナルティ失格の値を指定します。

ゼッケン番号が01~099迄を、先に表示または印刷する時はチェックを入れます。

設定の変更は競技中でも行なえます。

### 2-2. 減点スコアのカスタム設定



TR98 ラップ、セクション数の表示設定

ラップ・セクション

ラップ数 3 セクション数 12

全ラップ表示  全セクション表示

初期に戻す

元に戻す

設定を流用

キャンセル

OK

サイズ変更

拡大縮小(縦) 5 (横) 18

フォントサイズ  連動  解除 (10ポイント)

フォント(共通)

減点色のサンプル

スコア項目の色

項目の色サンプル

文字色

背景色

表示するスコアの各種設定を行います。

(この設定は行わなくてもかまいません)

“設定を流用”ボタンを押して、登録済大会を選択しますと、その大会での設定値を流用できます。

下図は減点スコアを設定した図です。

必要のないラップやセクションを表示しませんので、見やすくなります。

使用するパソコンの画面に合わせてカスタマイズして下さい。(大会毎に行います)

カスタマイズしたラップ数やセクション数が、レギュレーションよりも少ないクラスは

**?セクション / ?ラップ** の窓が点減しますので、再度設定を行ってください。

各クラスのボタンを押して、設定を確認します。(競技中でも変更は行なえます)

The screenshot shows the '18全日本TR集計ソフト' interface. The main window displays '国際A級スーパー 3Lap' with a table of rider rankings and points. A red box highlights a status window showing '12セクション / 3ラップ'. Below the main window is a detailed score table for rider '黒山 健一'.

順位	セクション	氏名	減点	クリーン	G	計	C	計
1	2	黒山 健一	6	0	40	12		
2	1	小川 友幸	8	0	59	8		
3	3	野崎 史高	6	0	74	5		
4	4	小川 毅士	8	0	80	4		
5	5	柴田 暁	8	0	94	3		
6	6	野本 佳章	10	0	108	0		
7	13	岡村 将敏	10	0	115	1		
8	15	氏川 政哉	10	0	118	2		
9	7	斎藤 晶夫	10	0	118	0		
10	10	藤原 慎也	10	0	119	0		
11	8	久岡 孝二	0	0	111	1		
12	17	平田 雅裕	0	0	118	0		
13	9	成田 亮	0	0	120	0		
14	12	砂田 真彦	0	0	120	0		
15	14	磯谷 玲	0	0	120	0		

選手数:17	21:37:37			
セクション	氏名	1L	2L	3L
1	小川 友幸			
2	黒山 健一			
3	野崎 史高			
4	小川 毅士			
5	柴田 暁			
6	野本 佳章			
7	斎藤 晶夫			
8	久岡 孝二			
9	成田 亮			
10	藤原 慎也			
11	吉良 祐哉			
12	砂田 真彦			
13	岡村 将敏			
14	磯谷 玲			
15	氏川 政哉			

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap	1	0	0	0	0	5	5	1	1	0	1	1	1			15	5
2Lap	1	5	0	0	5	5	1	0	0	3	0	0	0			19	7
3Lap	1	5	1													6	0
																40	12

選手のリストは2つあり、左側黄色のリストは順位と減点を表示します。

右側背景の白または黒のリストは、選手の進捗を表示します。

黒は競技を終了した選手を現します。

赤文字は失格またはリタイアした選手を現します。

各リストをクリックすると、その選手の減点内容が下のスコアに表示します。

ラップボタンまたはスコアのラップをクリックすると、そのラップまでの順位が左側黄色のリストに表示します。

## 2-3. パンチカード投入

「Tr98 トライアル競技」プログラムを起動直後にパンチカードを読みこむとカード読み取り精度が開き、パンチされた位置に数値が表示します。

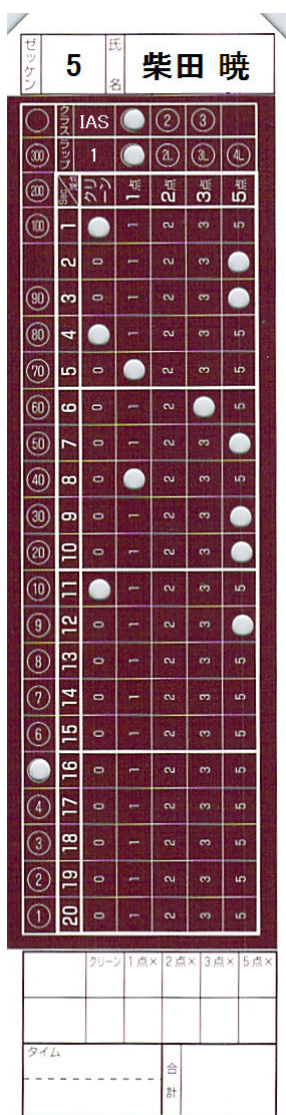
旧カードリーダーでは1～9までの数字で表示し、読み取り精度以下の数字は赤で示されます。

スキャナの場合は、全て9で示されます。

大会のファイルを開いてパンチカードを読みこむと、該当する選手が抽出されスコアに点数が表示します。

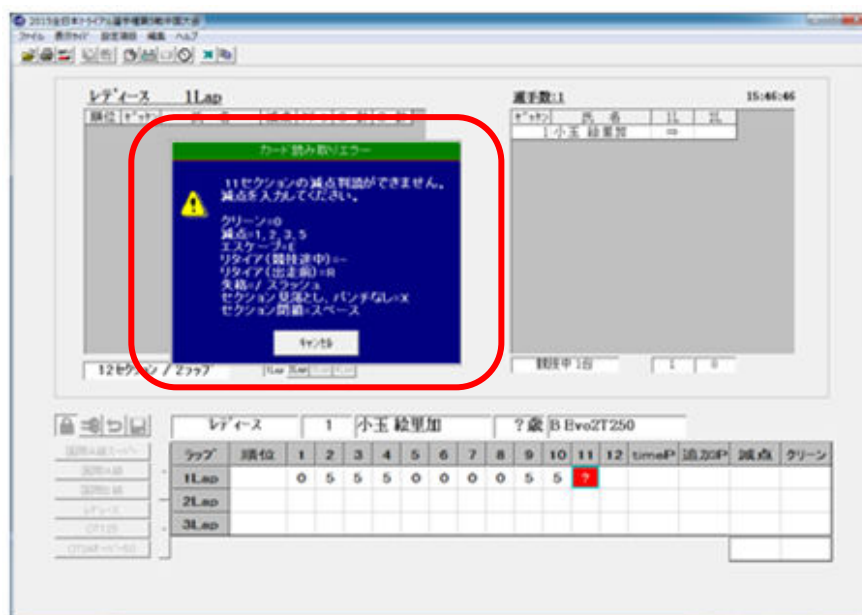
この時、カード読み取り精度が開いている時は、選手を抽出せずパンチされた位置に数値が表示します。

### 画像から数値に変換



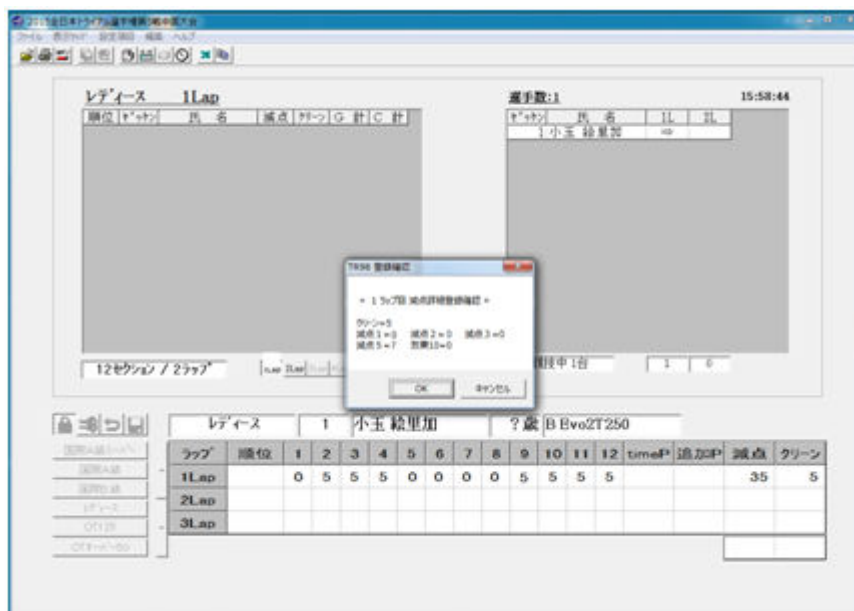


## 2-4. カードの一部が判断できないとき（青い色のメッセージ）



上図では 1 ラップ目 11 セクションの減点が判読できません。減点を手入力してください。  
 以降のセクションの点数に問題がなければ、登録確認を表示しますので O K を押します。  
 青いメッセージの時は、カードを再投入する必要はありません。  
 状況によって クラスやラップ または 選手 を選択します。

下図は登録確認のメッセージです。



O K を押すと登録します。

## 2-5. 減点の読み取り

旧カードリーダーやスキャナで読み込んだ情報により、クラス、ゼッケンおよびラップが選択されスコアに表示します。読み込んだ情報が不適切な時は、その状況に即した青いメッセージが表示しますので、メッセージに従い操作してください。(メッセージが邪魔で画面が見えない時はマウスでメッセージを移動してください。)

減点に問題がある時はそのセクションが **?** で示され、減点を入力されるまで待機します。

**?** の時、読み込んだ減点をキャンセルする時は、スコア横にある「変更をキャンセル」ボタンを押すか、登録確認の時にキャンセルします。

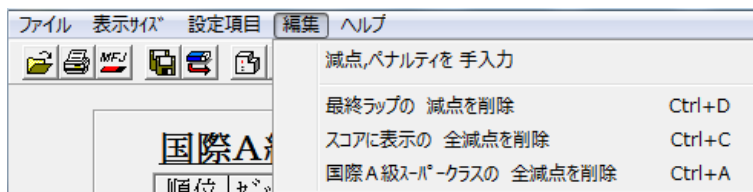
セクションの全てに点数がセットされると、登録確認を表示しますのでOKを押して登録します。

登録した後キャンセルする時は、画面上部にある **最終ラップを削除** ボタンを押します。

登録された減点はキーボードで削除できません。

## 2-6. 減点の削除

画面上段のメニューにある“編集”を開いてください。



### ・ 最終ラップの 減点を削除



ツールバーの“最終ラップを削除” ボタンと同じです。

スコアに表示している選手の登録済み最終ラップの減点のみが削除されます。

### ・ スコアに表示の全減点を削除

スコアに表示している選手の減点およびペナルティがすべて削除されます。

### ・ ???クラスの 全減点を削除

表示しているクラス全選手の減点およびペナルティがすべて削除されます。

全クラスの減点全てを削除する時は、各クラスのボタンを押して画面に表示し「???クラスの 全減点を削除」を行ってください。

6 クラスあれば 6 回行ないます。(競技前の状態に戻ります)

削除を行うとき確認のメッセージを表示します。

## 2-7. 同減点者の順位決定

同点でクリーン数、1点、2点、3点の数が同じであり順位が決まらない時、順位は空白で表示します。

順位	メック	氏名	減点	クリーン	G	C	計
1	73	武田 呼人	0	10	2	18	
2	39	氏川 政哉	0	10	2	19	
3	池田 蓮	6	8	12	12		
4	43	磯谷 郁	4	8	13	11	
5	41	山中 悟史	11	8	15	13	
6	40	小倉 巧太郎	6	7	17	13	
7	10	米田 悟	12	5	19	11	
8	2	倉持 晃人	9	6	21	12	
9	4	小沼 侑暉	6	7	21	11	
10	1	沖 勇也	14	5	23	10	
11	21	小野田 瑞希	6	5	24	8	
12	45	喜屋武 蔵人	12	8	27	8	
13	25	津谷 秀明	9	4	28	7	
14	27	斉藤 隆志	14	4	31	7	
15	37	岡村 敬美	18	4	32	6	

順位	選手
1	73 武田 呼人
2	39 氏川 政哉

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0			2	9
2Lap		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	10
3Lap															
														2	19

順位の列の空白をクリックしますと、該当する同順位者がリストに表示します。

選手名を上下にドラックして、順位を入れ替えてください。

スタートからゴールの所要時間が秒まで同じ場合、「同着とする」を選んでください。

同順位者を決定した時の順位は赤で表示します。

決定後に減点を入力した結果、再度同点となる時は、同順位の確定は解除されます。

大会終了後リザルトの印刷や、本部報告用のリザルトを印刷する時、同順位があればその時点で、リストが表示します。

この時、確定を行わずキャンセルした時は、同位者の順位は空白になります。

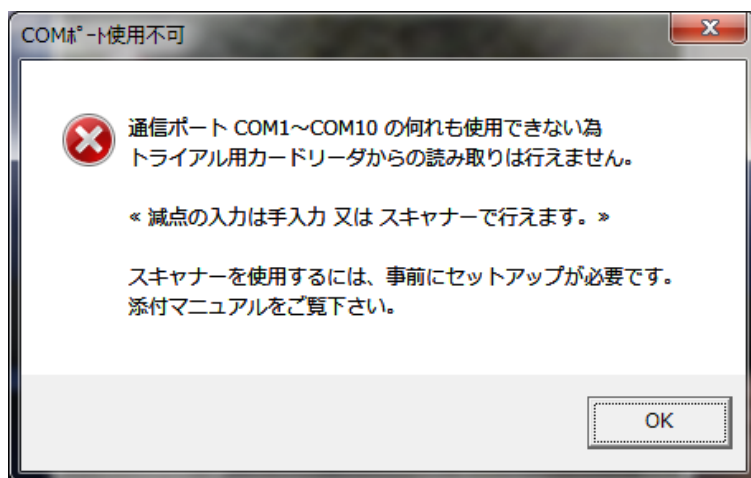
名前の上にマウスカースルを置いてマウス左ボタンを押したまま上下にマウスを移動することで選手の順位が入れ替わります。

順位は少ない所要時間（秒単位）で完走したライダーを上位とします。

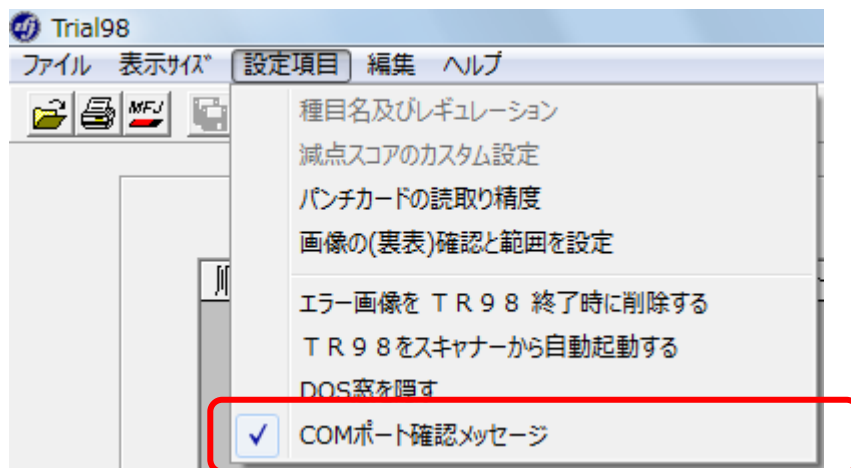
競技監督・計時長の相互確認により決定してください。

## 2-8. 起動時に出るメッセージ

COM 通信ポートの無いパソコンで Tr98 トライアル競技を起動すると下図のメッセージを表示します。  
COM ポートとは従来、使用していた光学式パンチカードリーダーとのパソコン側接続口のことです。

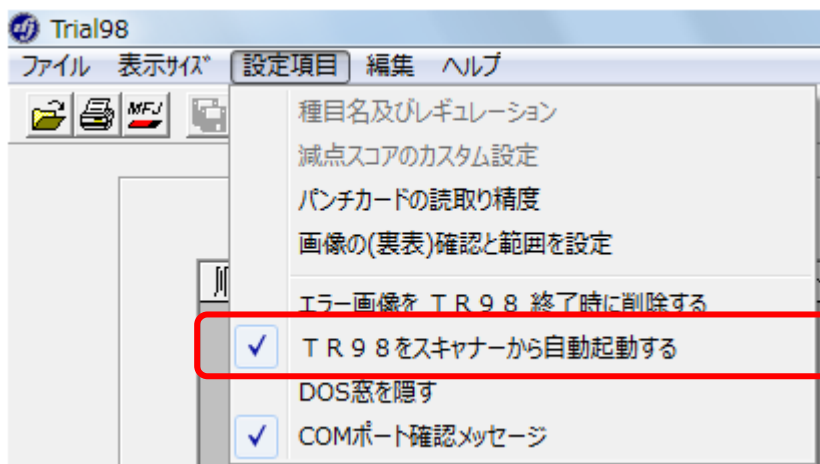


このメッセージを表示させなくするには、上部メニューの設定項目を開いて **COMポート確認メッセージ** のチェックを外しますと次回から表示しなくなります。



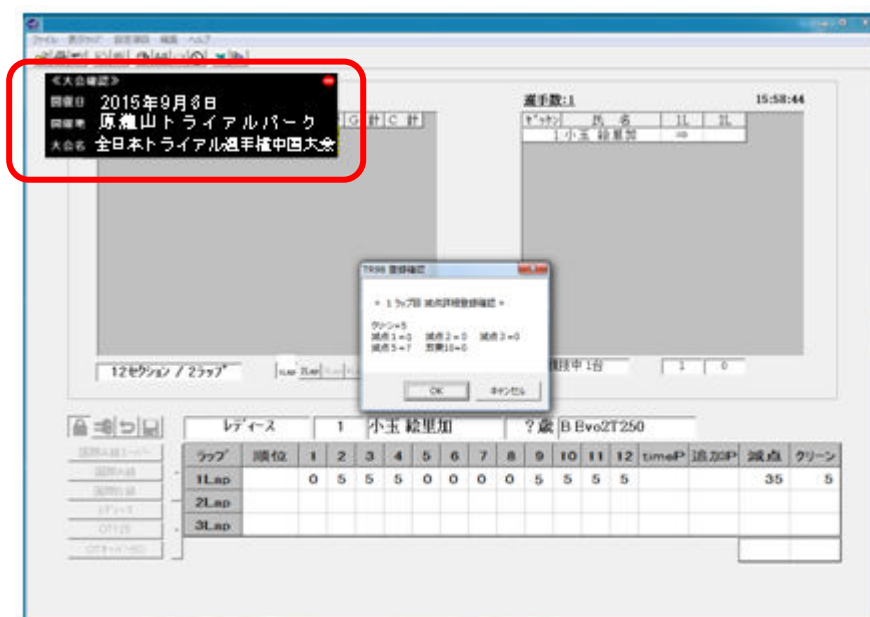
## 2-9. 「Tr98 トライアル競技」を自動起動する

「TR98をスキャナから自動起動する」にチェックをいれます



チェックされていると、スキャナから画像を読み込んだ時、起動と同時に前回開いた大会（ファイル履歴の一番上）を開いて、スコアに減点を出力します。

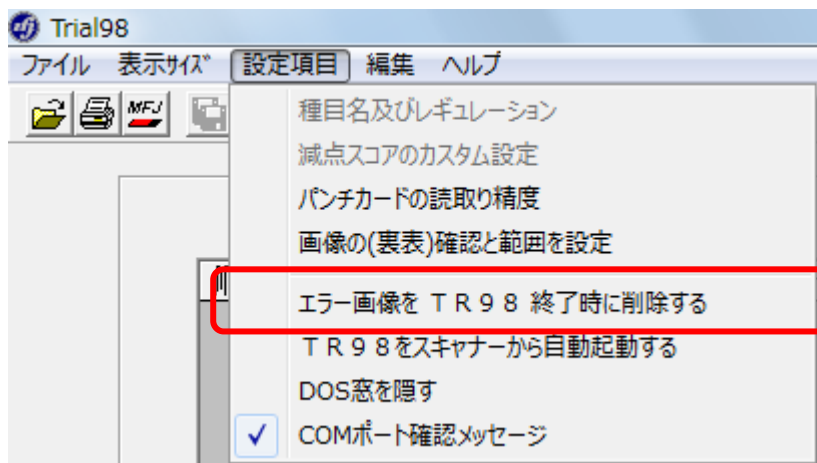
画面左上に開催日、開催地および大会名が表示しますので、確認してください。



もし大会が違うのであれば、キャンセルして別の大会ファイルを読み込んでください。

スキャナを他の目的で使用するときファイルサイズがパンチカードに類似している場合、「Tr98 トライアル競技」に取り込まれますので自動起動はお勧めしません。

## 2-10. エラー画像を「Tr98 トライアル競技」終了時に削除する

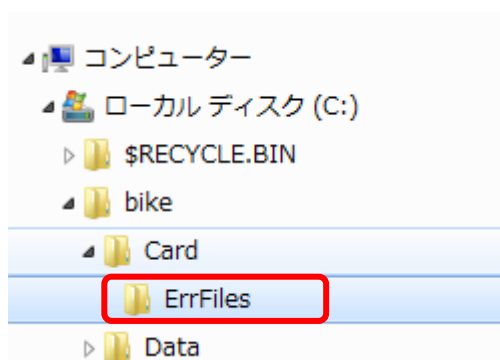


画像から減点に変換できなかった時や、変換が選手の登録状況と一致なかった画像は ErrFiles フォルダに移動して問題解決に使用できるようにしています。

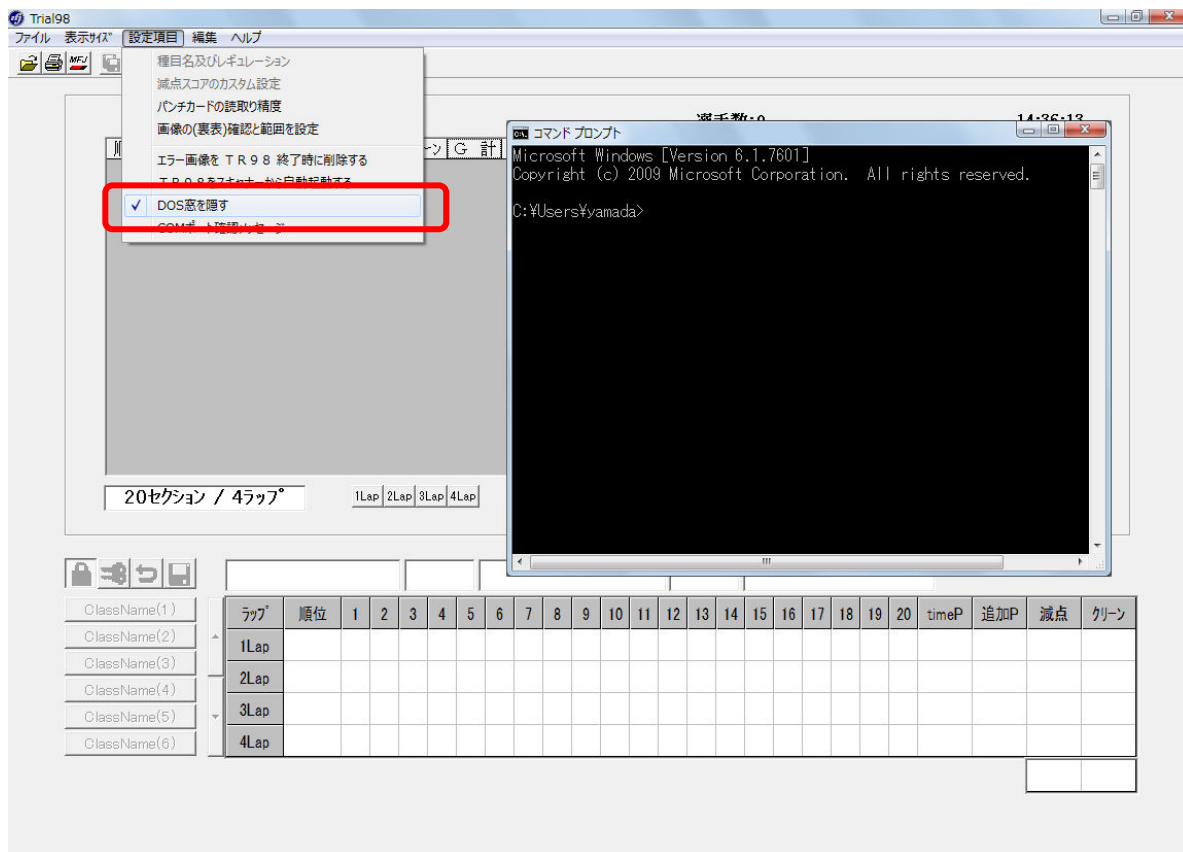
これを残す必要がなければ、チェックを入れておくと、「Tr98 トライアル競技」終了時に全て消去されます。もし頻繁にエラーメッセージ（青色のメッセージも含む）が出るようでしたら、チェックを外して問題の画像を残しておき、開発元にその画像（1回の投入により3つのファイルができる）を送ればエラーが起きた状況の材料として確認できます。全く変換できなかったものや、誤変換されたものがこのフォルダに収納されています。なお主催者側でパンチミスしたものも含まれます。

### ErrFiles フォルダの場所

標準では 下図の場所になります。



## 2-1-1. DOS 窓を隠す



スキャナからの画像をパンチカードデータ読取り変換中、DOS（コマンドプロンプト）のウィンドウにデータを出力します。

このため、**黒い画面**がスクリーンの最前面に表示する場合があります。

**DOS 窓を隠す**にチェックを入れると、「Tr98 トライアル競技」がスクリーンの最前面に表示し、**黒い画面**が「Tr98 トライアル競技」の後ろに隠れます。

## 2-12. カード読み取りエラー

下図の様に青のエラーが頻繁に表示するようであれば、カード読み取り精度を開くと画像の変換結果を見ることができます。

The screenshot shows a software interface for a triathlon event. At the top, a toolbar contains several icons, with the 'Card Reader' icon (a document with a card) highlighted by a red box. The main window displays a grid of punch card data for 'International B' level, a list of athletes, and a summary table. A blue error dialog box is overlaid on the screen, indicating a card reading error for a specific athlete.

**エラーメッセージ:** カード読み取りエラー  
 国際B級のセッション013は未登録です。  
 該当する選手を登録し、OKを押して下さい。  
 別のクラスに変更する時は、クラスを変更後  
 選手を登録して、OKを押して下さい。

**選手数: 67** 14:45:58

セッション	氏名	1L	2L
1	山崎 頌太		
2	沖 亜也		
3	藤原 悠樹		
4	松本 龍二		
5	栗田 悟		
6	金井 博		
7	...		
8	...		
9	...		
10	...		
11	...		
12	...		
13	...		
14	...		
15	...		
16	...		
17	...		
18	...		
19	...		
20	...		
21	...		
22	...		
23	...		
24	...		
25	...		
26	...		
27	...		
28	...		
29	...		
30	...		
31	...		
32	...		
33	...		
34	...		
35	...		
36	...		
37	...		
38	...		
39	...		
40	...		
41	...		
42	...		
43	...		
44	...		
45	...		
46	...		
47	...		
48	...		
49	...		
50	...		
51	...		
52	...		
53	...		
54	...		
55	...		
56	...		
57	...		
58	...		
59	...		
60	...		
61	...		
62	...		
63	...		
64	...		
65	...		
66	...		
67	...		

**選手数: 67** 14:45:58

セッション	氏名	1L	2L
1	山崎 頌太		
2	沖 亜也		
3	藤原 悠樹		
4	松本 龍二		
5	栗田 悟		
6	金井 博		
7	...		
8	...		
9	...		
10	...		
11	...		
12	...		
13	...		
14	...		
15	...		
16	...		
17	...		
18	...		
19	...		
20	...		
21	...		
22	...		
23	...		
24	...		
25	...		
26	...		
27	...		
28	...		
29	...		
30	...		
31	...		
32	...		
33	...		
34	...		
35	...		
36	...		
37	...		
38	...		
39	...		
40	...		
41	...		
42	...		
43	...		
44	...		
45	...		
46	...		
47	...		
48	...		
49	...		
50	...		
51	...		
52	...		
53	...		
54	...		
55	...		
56	...		
57	...		
58	...		
59	...		
60	...		
61	...		
62	...		
63	...		
64	...		
65	...		
66	...		
67	...		

12セッション / 2ラップ | Lap 2Lap | 1Lap | 4Lap

国際B級	1	山崎 頌太	?歳	BETA													
ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap	1	5	3	0	0	5	0	5	0	3	1	1	0			23	5
2Lap	1	3	3	5	0	2	3	1	0	2	1	0	5	6		31	3
3Lap																	
																54	8

実際のパンチカードと著しく違うことが頻繁に起きるようであれば、開発元へお問い合わせください。



## 2-13. 減点のマニュアル入力

スコアに入力

登録

10セクション / 3ラップ

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			2	9
2Lap	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	10
3Lap	1	0	0											0	2
														2	21

クラスボタンの上にあるスコアに入力ボタンを押し下げます。

減点およびペナルティ（timeP, 追加 P）が入力可能になります。

減点を入力し Enter キーを押すか、登録ボタンを押すと確認ダイアログを表示しますので確認して OK を押します。

入力したペナルティ（timeP, 追加 P）の点数は、そのラップの減点に加算され、赤文字で表示されます。

下図は全日本トライアルの例で timeP は 1 ラップ目のタイムチェック遅れが 1 分を越え 2 分以内だった。

追加 P は 2 ラップ目に違反行為で追加ペナルティを受けた。

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap	11	0	0	2	3	0	5	0	0	1	5	2		18	5
2Lap	10	0	0	0	0	0	5	0	0	1	2		5	13	7
3Lap															
														31	12

### リザルト印刷例



2016年全日本トライアル第5戦北海道大会

Page1

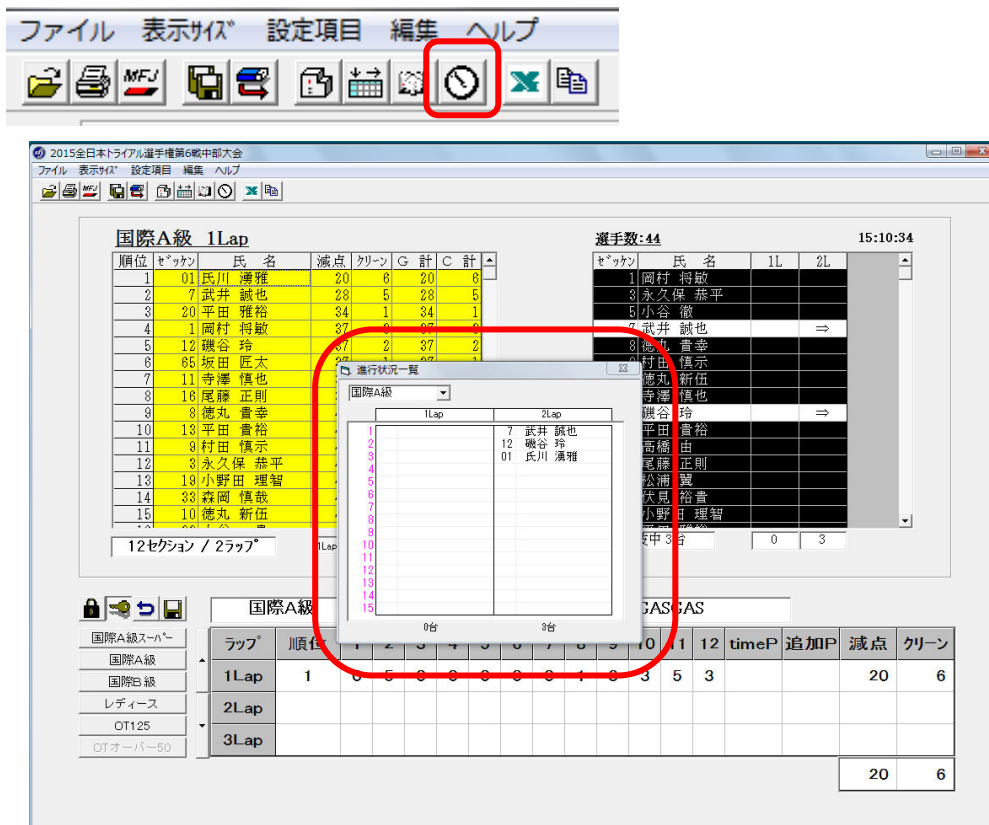
リザルト / 国際A級

10セクション2ラップ Print

順位	セク	ライダー チーム名	車両	L別	セクション										TP	AP	G	G計	C計
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
10	5	小谷 徹 アズーロ & MOTS	GASGAS	11	0	0	2	3	0	5	0	0	1	5	2	5	18	31	12
				11	0	0	0	0	5	0	0	1	2						

## 2-14. 競技の終了を簡単に知る

進行状況を押すと進行状況一覧が表示し、現在トライ中の選手がリストアップされます。  
クラスを選択して状況を確認できます。



現在トライ中の選手名と各ラップ競技中の台数

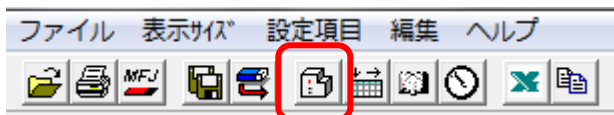
1ラップ目は全員終了しています。

表示するクラスは、プルダウンから選ぶか又は、スコア横のクラスボタンを押します。

競技が終了したクラス



## 2-15. 採点カードにゼッケンをパンチするとき



カード読み取り精度でゼッケンの読み取り「通常(499迄)」の時は、ゼッケンの最大番号は499迄となり、カードにパンチする箇所は100の桁、10の桁、1の桁は、各1か所に限定され、同じ桁に2個以上のパンチがあると「読み取りエラー」を表示します。スキャナでは誤変換を防ぐためにも、この設定を推奨します。

従来の光学式カードリーダーを使用する場合、誤読は有りませんので、「**全て読取る**」を推奨します。

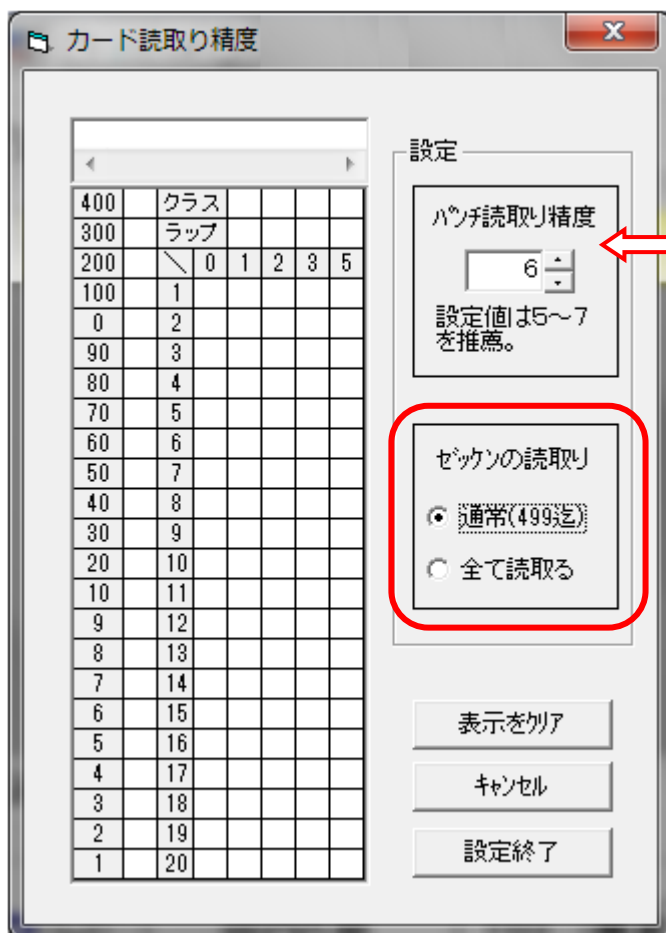
全て読取るにすると、最大999迄のゼッケンを扱えます。

また合計が999以内なら、各桁に複数パンチすることもできます。

(例) ゼッケン10をパンチする場合

通常はカードの⑩をパンチしますが、⑤③②の複数個所にパンチし合計を10にします。

ゼッケン番号を間違えてパンチした時、合計が正しい番号になれば良いので、カードの無駄を防ぐことができます。

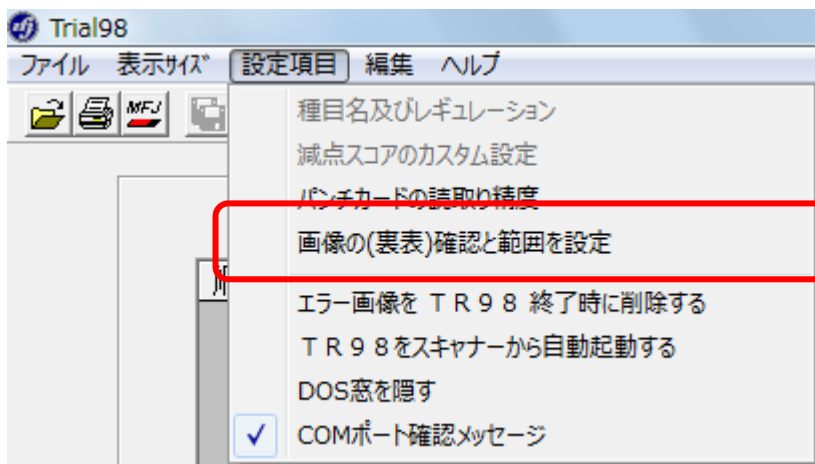


パンチ読み取り精度の数値変更は従来の光学式カードリーダー用でスキャナの場合は動作に変化はありません。(影響しません)

## 2-16. 読み取る画像サイズを制限する

読み取る画像のサイズは標準で 130KB~280KB に制限しており、この範囲外の画像はパンチカードではないと判断しますので、「Tr98 トライアル競技」が起動中でも他の原稿をスキャンすることができます。

「画像の(裏表)確認と範囲を設定」を選択します。



パンチカードを読み取りしても、「Tr98 トライアル競技」の反応が無い時はこれを開いてチェックしてください。

パンチカードを読み取りすると、画像とサイズを表示します。

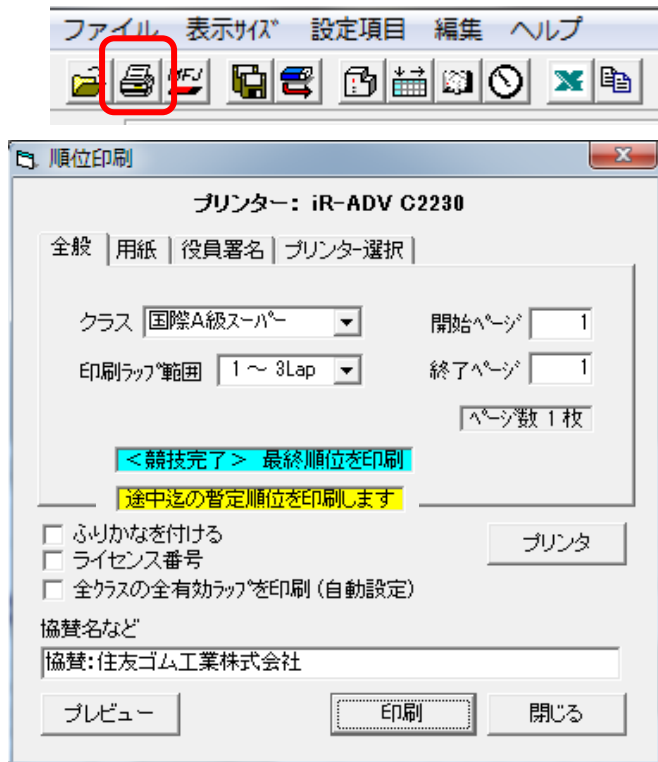
使用のパソコンや OS、読み取りした状況により、縦横上下が逆転する場合がありますが無視してください。

画像サイズが範囲外になる時は、使用の機材に合わせて下限、上限を決定してください。

取り込んだ画像により自動で下限、上限のサイズ値は変化しますが、直接各サイズ値を入力できます。

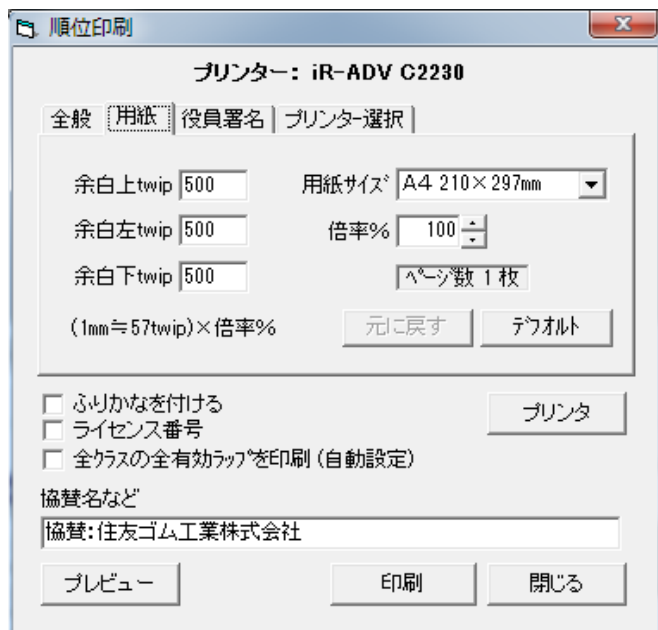
設定値は **下限設定 < 画像サイズ < 上限設定** となるようにしてください。

## 2-17. リザルトを印刷する



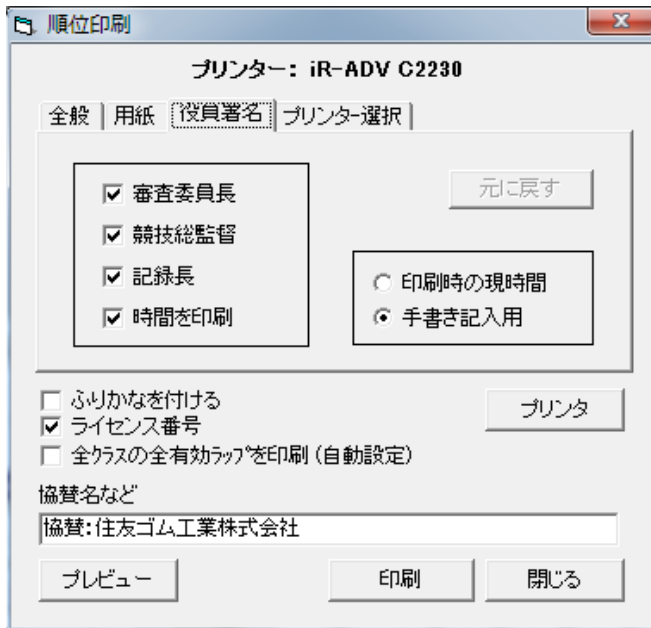
全般タブでは

印刷するクラス及び印刷ラップ範囲を選択します。競技が終了していないか、印刷ラップ範囲がレギュレーションより少ない場合は「途中迄の暫定順位を印刷します」が表示され、「暫定」としてリザルト印刷します。

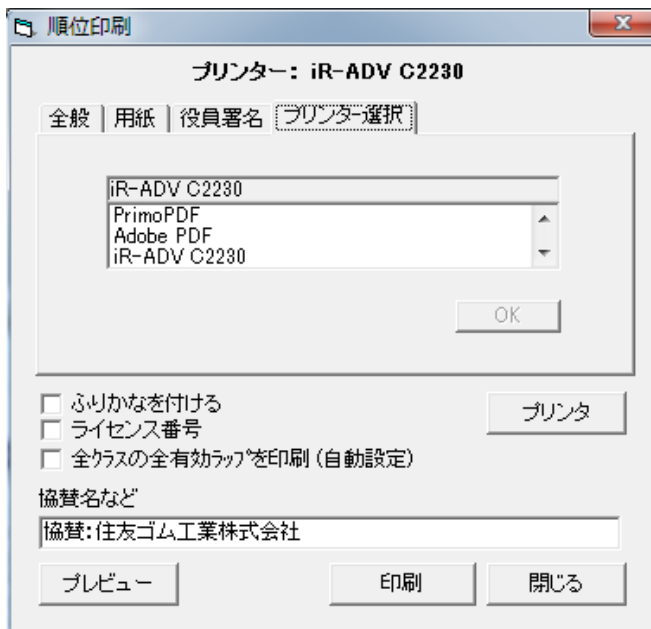


用紙タブでは

用紙サイズ、印刷倍率の設定を行いません。



役員署名タブでは  
役員署名欄と掲示時刻の設定を行いません。



プリンター選択タブでは  
出力先のプリンター選択を行いません。

- ・ふりがなを付ける：ライダー名の上に“ふりがな”を印字します。
- ・ライセンス番号：ライダーのライセンス番号を印字します。
- ・全クラスの全有効ラップを印刷（自動設定）：すべてのクラスを印刷します。
- ・協賛名等：リザルトの下部にスポンサー名などを印字します。全角 60 文字まで

「プリンタ」ボタンは出力するプリンタの設定を変更します。

「プレビュー」ボタンは画面上に印刷イメージを表示します。その後、印刷も可能です。

「印刷」ボタンはプリンタへ印刷を開始します。

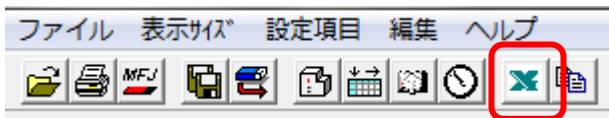
プレビュー例)

印刷プレビュー 国際A級スーパー 1~4Lap 用紙: A4 210×297mm

☆2015年全国日本トライアル選手権 第4戦 北海道大会 Page1  
リザルト／国際A級スーパー 8セッション4ラップ Print 2015.10.09

順位	ゼッケン	ライダー チーム名	車両	L順	セクション								TP	AP	G	G計	C計
					1	2	3	4	5	6	7	8					
1	2	黒山 健一 team黒山レック・ヤマハ	YAMAHA	2	0	0	1	0	5	0	0	0				23	19
				2	0	0	0	5	5	0	0	0					
				1	0	0	0	1	1	0	0	0					
2	4	小川 毅士 WISE BETA RACING	BETA	1	0	0	2	0	3	0	0	0				26	18
				1	0	0	0	5	0	5	0	0					
				3	0	0	0	3	2	0	0	1					
3	1	小川 友幸 HRC クラブ MITANI	HONDA	4	0	0	0	5	3	1	0	5				30	17
				3	0	0	0	3	1	0	0	0					
				2	0	0	0	0	2	0	0	0					
4	3	野崎 史高 YSP京業Racing	YAMAHA	3	0	0	0	5	5	0	0	0	2			37	19
				4	0	0	0	5	5	0	0	0					
				4	5	5	0	5	0	0	0	0					
5	5	柴田 暁 HRCクラブMITANI	HONDA	6	0	0	1	1	5	5	3	1				44	12
				5	0	0	0	0	5	0	5	0					
				5	0	0	1	5	1	5	0						
6	6	田中 善弘 WISE BATA RACING	BETA	5	0	0	5	0	2	1	5	1				55	10
				6	0	0	1	0	5	5	5	2					
				6	0	0	0	5	5	1	2						
7	7	野本 住章 モトベント&BETA	BETA	7	0	0	5	5	0	5	3	0	3			59	12
				7	0	5	0	5	3	0	0	5					
				7	0	5	0	1	1	3	0						
8	15	吉良 祐哉 GAS GAS TRIAL TEAM	GAS GAS	11	0	0	5	5	5	5	3	5	4			83	6
				8	0	5	1	3	2	5	1						
				8	0	1	5	5	3	0	5	5					
9	12	藤原 慎也	OSSA	9	0	0	5	5	5	3	3	5				86	5
				9	0	1	2	1	5	3	5	5					
				9	0	0	5	5	5	3	5	5					

2-18. 順位成績をエクセルに転送



リザルトに準じた内容でエクセル文書を作成します。

結果を確認してエクセル文書として保存してください。外部へリザルトを渡したい場合に利用ください。

※ パソコンに Microsoft エクセルがインストールされていなければ利用できません。

Book1 - Microsoft Ex

ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 Acrobat チーム

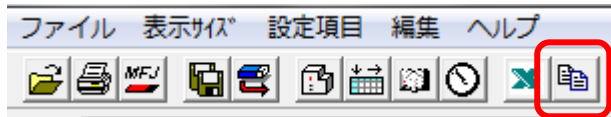
MSゴシック 11 A A

貼り付け B I U 設定

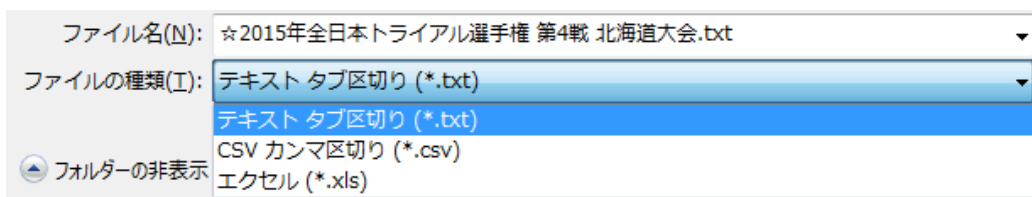
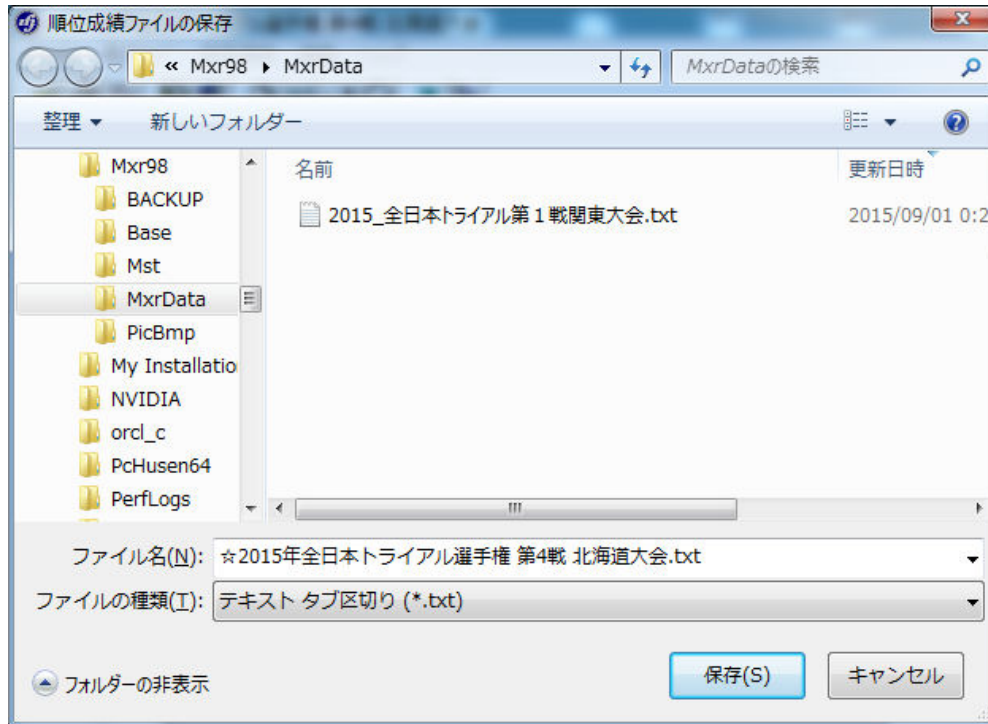
クリップボード フォント 配置

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K								
1	☆2015年全国日本トライアル選手権 第4戦 北海道大会									年月日								
2	RESULT／国際A級スーパー									8セッション4ラップ								
3	順位	No.	ライダー	マシン	L順	1	2	3	4	5	6	7	8	TP	AP	G	G計	C計
4	1	2	黒山 健一	YAMAHA	2	0	0	1	0	5	0	0	0				23	19
2					0	0	0	5	5	0	0	0						
1					0	0	0	1	1	0	0	0						
5	2	4	小川 毅士	BETA	1	0	0	2	0	3	0	0	0				26	18
1					0	0	0	5	0	5	0	0						
3					0	0	0	3	2	0	0	1						
6	3	1	小川 友幸	HONDA	4	0	0	0	5	3	1	0	5				30	17
3					0	0	0	3	1	0	0	0						
2					0	0	0	0	2	0	0	0						
7	4	3	野崎 史高	YAMAHA	3	0	0	0	5	5	0	0	0	2			37	19
4					0	0	0	5	5	0	0	0						
4					5	5	0	5	0	0	0	0						
8	5	5	柴田 暁	HONDA	6	0	0	1	1	5	5	3	1				44	12
5					0	0	0	0	5	0	5	0						
5					0	0	1	5	1	5	0							
9	6	6	田中 善弘	BETA	5	0	0	5	0	2	1	5	1				55	10
6					0	0	1	0	5	5	5	2						
6					0	0	0	5	5	1	2							
10	7	7	野本 住章	BETA	7	0	0	5	5	0	5	3	0	3			59	12
7					0	5	0	5	3	0	0	5						
7					0	5	0	1	1	3	0							
11	8	15	吉良 祐哉	GAS GAS	11	0	0	5	5	5	5	3	5	4			83	6
8					0	5	1	3	2	5	1							
8					0	1	5	5	3	0	5	5						
12	9	12	藤原 慎也	OSSA	9	0	0	5	5	5	3	3	5				86	5
9					0	1	2	1	5	3	5	5						
9					0	0	5	5	5	3	5	5						

## 2-19. 順位成績ファイル作成 (Tab、カンマ区切り)



エクセルがインストールされていないパソコンなどで外部へリザルトを渡したい場合、有効です。  
ファイルの種類：“テキスト タブ区切り”または“CSV カンマ区切り”を使用してください。

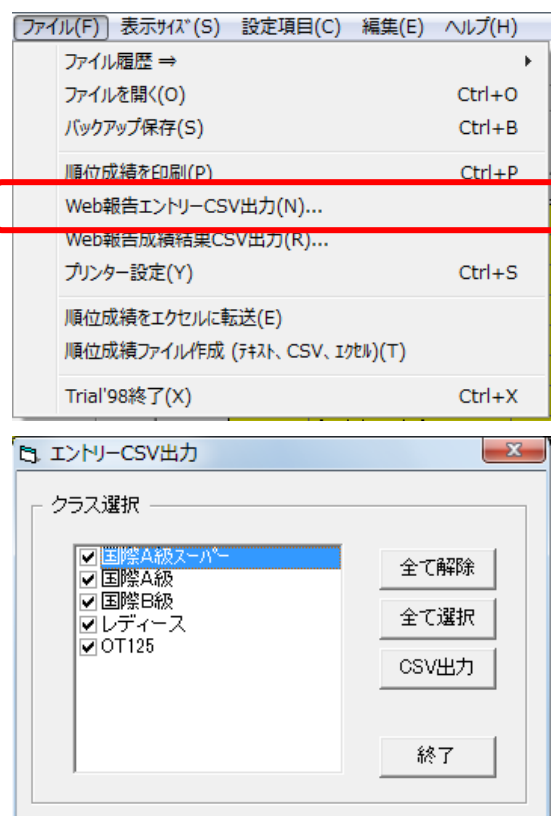


エクセルは “2-18.順位成績をエクセルに転送”と同じです。

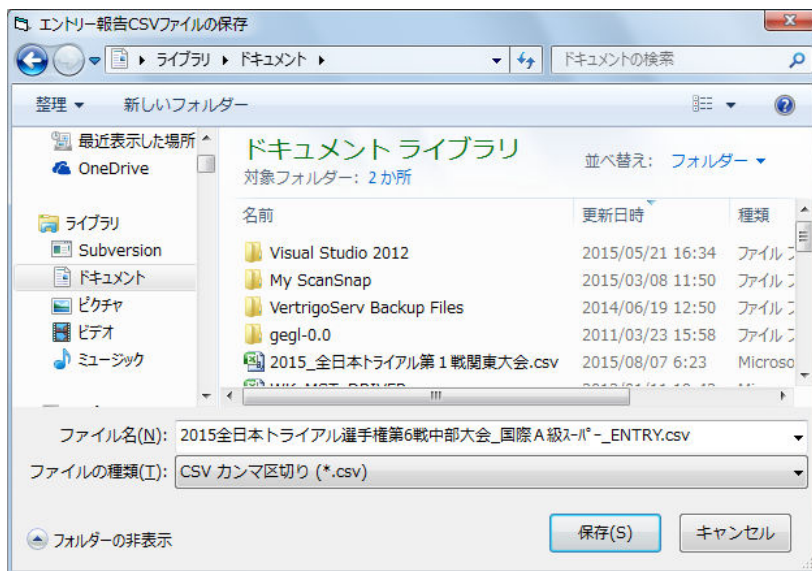


## 2-20. Web 報告エントリーCSV 出力

メニュー→「ファイル」→「Web 報告エントリーCSV 出力」を選択してください。



出力したいクラスをチェックして **CSV 出力** ボタンを押してください。



保存先を指定して保存してください。複数クラスを選択した場合、クラス毎別の CSV ファイルになります。

web 上の MFJ イベント管理の詳しい利用方法は「使い方」のリンクがありますのでそちらを参照ください。

The screenshot shows the MFJ events application management interface. The '使い方' (Usage) link is highlighted in the top-left navigation menu. Below it, the 'MFJ エントリー者入力画面' (MFJ Entrant Input Screen) is displayed. A table shows event details for the 2016 All Japan Trial Handicap Series. A red box highlights the 'オリジナルファイルから取り込み' (Import from original file) section, which includes instructions and a '取り込む' (Import) button.

イベント処理番号	160422-00	イベント名称	2016 全日本トライアル選手権シリーズ 第9戦 北海道大会
主催者名称	北海道モーターサイクルスポーツ協会	会場名称	わかさむサーキット
開催期間	2016-07-16 ~ 2016-07-17	イベント中止	
イベント格式	全日本選手権	種目	トライアル
シリーズ	全日本トライアル選手権シリーズ	クラス	IAS

MFJ イベント管理の「MFJ エントリー者入力画面」では「オリジナルファイルから取り込み」を行ないます。

本システムの「Web 報告エントリーCSV 出力」で作成した CSV ファイルを **参照...** ボタンで選択後、**取り込む** ボタンを押します。

The screenshot shows the 'Web 報告エントリーCSV 出力' (Web Report Entrant CSV Output) screen. A table lists items with a red box highlighting the right-side column containing triangle selection markers. Below the table, there is a '取り込み' (Import) button.

項目	ファイルの行データ (下のセルをクリックして選択して下さい)
ライセンスNO	▶
氏名(姓と名が分かれている場合複数選択)	▶
ゼッケンNO	▶
ライセンス区分	▶
年齢	▶
県名	▶
所属クラブ	▶
アシスタント	▶
備考	

▶ 三角マークを上から順にマウスクリックして下図の順に選択してください。ライセンス NO からアシスタントまで繰り返します。例えばライセンス NO は一番上の“000000”です。

ライセンスNOに対応する行を選んで下さい。(ヘッダー行が無いファイルの場合プレビューを確認しながら該当する値を選択して下さい。)

The screenshot shows the '固定文字列入力' (Fixed Text Input) dialog box. A list of entries is shown with a red box highlighting the first few items: 000000, 小川 友幸, 1, TIA, 39, 三重県, HRCクラブMITANI, and 田中 裕大.

項目	ファイルの行データ (下のセルをクリックして選択して下さい)
ライセンスNo	000000
氏名(姓と名が分かれている場合複数選択)	小川 友幸
ゼッケンNo	1
ライセンス区分	TIA
年齢	39
県名	三重県
所属クラブ	HRCクラブMITANI
アシスタント	田中 裕大
備考	
取り込み開始行を入力して下さい。 1 行目	<input type="button" value="戻る"/> 取り込みレイアウト名 トライアルライダー登録 で <input type="button" value="取り込み"/>

取り込みレイアウト名を入力すると次回からのレイアウト名選択で項目と CSV の関係付けが省略できます。

取り込みボタンを押すとエントリー者の取り込みを実行します。

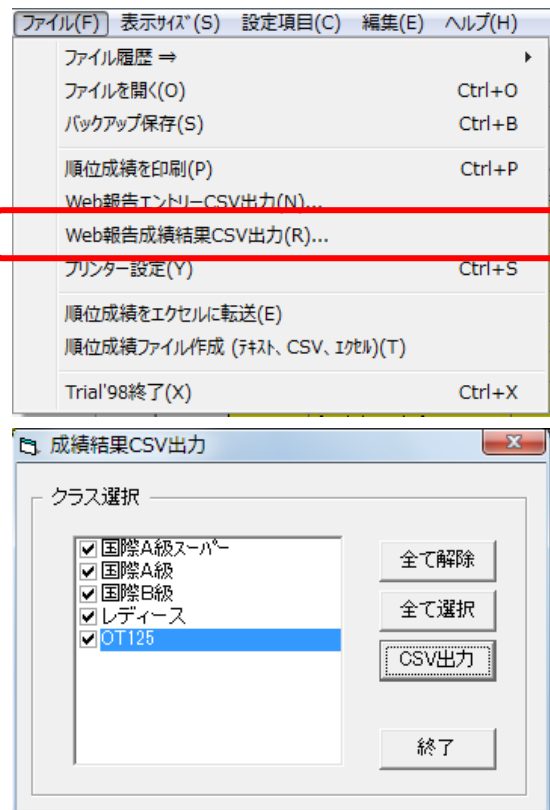
「ライセンスNo」を入力し「Enter」キーを押すことで「氏名」「ライセンス区分」「年齢」「県名」「所属クラブ」が自動入力されます。  
「ライセンスNo」の入力後は必ず「Enter」キーを押して下さい。  
※「ライセンスNo」から情報を自動入力した場合、手動入力(または取り込み)してある情報はMFJの保持しているライセンス情報で上書きされます。

全 選 択		ライセンスNo	氏名※	ゼッケンNo※	ライセンス 区分※	年齢	県名	所属クラブ	アシスタント	備考
<input type="checkbox"/>	1	000000	小川 友幸	1	TIA ▼	39	三重県 ▼	HRCクラブMITANI	田中 裕大	
<input type="checkbox"/>	2	000001	黒山 健一	2	TIA ▼	37	兵庫県 ▼	ヤマハファクトリーレ	黒山 二郎	
<input type="checkbox"/>	3	000002	野崎 史高	3	TIA ▼	31	埼玉県 ▼	YSP京葉×KEN	中山 浩	

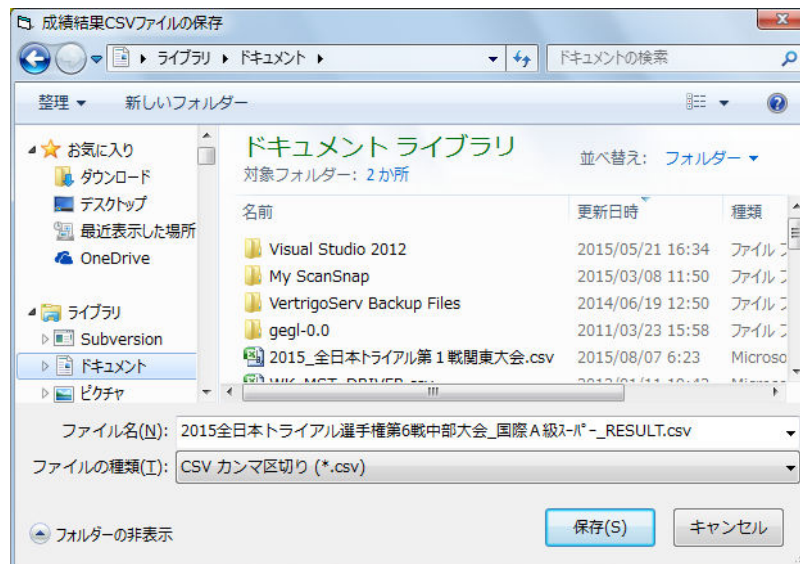
他クラスについても同様にイベント一覧のクラスを選択しながら繰り返します。

## 2-2-1. Web 報告成績結果 CSV 出力

メニュー→「ファイル」→「Web 報告成績結果 CSV 出力」を選択してください。



出力したいクラスをチェックして **CSV 出力** ボタンを押してください。



保存先を指定して保存してください。複数クラスを選択した場合、クラス毎別の CSV ファイルになります。

web 上の MFJ イベント管理の詳しい利用方法は「使い方」のリンクがありますのでそちらを参照ください。

MFJ イベント管理の「MFJ 成績結果入力画面」では「オリジナルファイルから取り込み」を行ないます。

本システムの「Web 報告成績結果 CSV 出力」で作成した CSV ファイルを「参照...」ボタンで選択後、「取り込む」ボタンを押します。

項目	ファイルの行データ (下のセルをクリックして選択して下さい)
順位	▶
ゼッケンNO	▶
ライセンスNO	▶
氏名(姓と名が分かれている場合複数選択)	▶
ライセンス区分	▶
周回数	▶
取り込み開始行を入力して下さい。 1 行目	戻る 取り込みレイアウト名 <input type="text"/> で <input type="button" value="取り込み"/>

▶三角マークを上から順にマウスクリックして下図の順に選択してください。順位からライセンス区分まで繰り返します。例えば順位は一番上の“1”です。

順位に対応する行を選んで下さい。(ヘッダー行が無いファイルの場合プレビューを確認しながら該当する値を選択して下さい。)

固定文字列入力	入力
1	
1	
000000	
小川 友幸	
TIA	

項目	ファイルの行データ (下のセルをクリックして選択して下さい)
順位	1
ゼッケンNO	1
ライセンスNO	000000
氏名(姓と名が分かれている場合複数選択)	小川 友幸
ライセンス区分	TIA
周回数	
取り込み開始行を入力して下さい。 1 行目	<input type="button" value="戻る"/> 取り込みレイアウト名 <input type="text" value="トライアル成績結果"/> で <input type="button" value="取り込み"/>

取り込みレイアウト名を入力すると次回からのレイアウト名選択で項目と CSV の関係付けが省略できます。

**取り込み** ボタンを押すと成績結果の取り込みを実行します。

決勝戦数:  予選出走台数:  決勝出走台数:  計算方式:

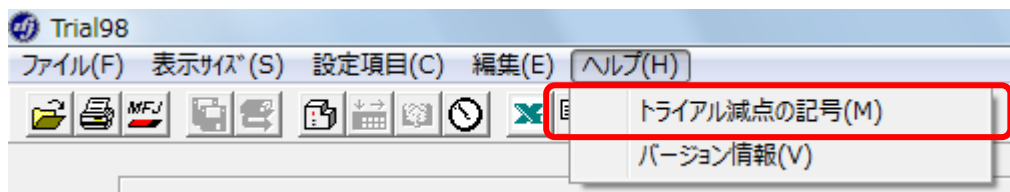
「エントリー者入力」で登録した「ゼッケンNo」を入力し「Enter」キーを押すことで「ライセンスNo」「氏名」「ライセンス区分」が自動入力されます。

順位	ゼッケンNO	ライセンスNO	氏名	ライセンス区分	周回数	ボーナスポイント	昇格ポイント	獲得ポイント	総合ポイント	
1位 <input type="text"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="000000"/>	<input type="text" value="小川 友幸"/>	<input type="text" value="TIA"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="クリア"/>
2位 <input type="text"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="000001"/>	<input type="text" value="黒山 健一"/>	<input type="text" value="TIA"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="クリア"/>
3位 <input type="text"/>	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="000002"/>	<input type="text" value="野崎 史高"/>	<input type="text" value="TIA"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="クリア"/>

他クラスについても同様にイベント一覧のクラスを選択しながら繰り返します。

## 2-22. トライアル減点の記号

メニュー→「ヘルプ」→「トライアル減点の記号」を選択してください。



0	クリーン
1, 2, 3, 5	減点
E	エスケープ
-	リタイア(競技途中)
R	リタイア(出走前)
X	セクション見落とし、パンチなし
スペース	セクション閉鎖

閉じる

スコアを手入力する際は減点数 0～5 の数字のほか、上表の記号を参考に入力してください。

### 2-2-3. 失格者の指定方法

減点入力時にタイムペナルティ (timeP) に「10」を越える値が入力された場合、自動で「失格」チェックをオンにします。タイムペナルティ以外での失格もあり得ますから手入力での「失格」チェックを行なえるようにします。

国際A級 2Lap

順位	セクション	氏名	減点	クリーン	G 計	C 計
24	15	佃 大輔	48	2	101	3
25	23	三塚 政幸	53	1	101	1
26	03	濱邊 侖	49	1	103	1
27	39	松本 龍二	51	1	104	2
28	37	鈴木 克敏	48	1	105	1
29	46	伊藤 紀夫	54	0	106	0
30	47	上本 直樹	51	1	107	1
31	05	坂井 柚稀	53	1	109	1
32	36	窪谷 貴正	52	0	109	0
33	35	生田 俊之	54	0	109	0
34	34	真田 啓行	56	0	112	0
35	44	武中 裕輝	55	0	112	0
36	42	寺岡 昭雄	56	0	114	0
失格	04	倉持 晃人	70	1	121	2
失格	10	小谷 徹	48	3	95	4

選手数:39 21:17:12

セクション	氏名	1L	2L
1	永久保 恭平		
2	小野 晝史		
4	村田 慎示		
5	武井 誠也		
6	本多 元治		
7	山崎 頌太		
8	徳丸 新伍		
10	小谷 徹	×	×
12	中里 侑		
14	小野田 理智		
15	佃 大輔		
17	武田 呼人		
18	木下 裕喜		
20	森岡 慎哉		
21	池田 蓮		

12セクション / 2ラップ

失格	失格者	国際A級	10	小谷 徹	50歳	TRS
<input checked="" type="checkbox"/>						

ラップ	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	timeP	追加P	減点	クリーン
1Lap	失格	2	5	5	5	5	5	0	5	5	3	5	1	1		47	1
2Lap	失格	5	5	1	3	5	5	0	5	5	3	0	0	11		48	3
3Lap																95	4

TR98 種目、クラス、レギュレーション

種目名: トライアル選手

クラス名、セクション、ラップ

マシン位置	エントリークラス名	セクション数	ラップ数
クラス①	国際A級スーパー	12	3
クラス②	国際A級	12	2
クラス③	国際B級	12	2
クラス④	レディース	12	2
クラス④+①	(なし)	20	4
クラス④+②	(なし)	20	4

レギュレーション

減点数(タイムペナルティおよび追加ペナルティを含む)が少ない者を上位  
 同点が生じた場合、0点が最も多い者を上位  
 依然として同点だった場合「1点が最も多い者、2点が最も多い者、3点が最も多い者」という順序で判断する。

それでも同点だった場合、順位は空白で表示するので手入力により順位を決定する。  
 条件は少ない所要時間(秒単位)で完走したライダーを上位とする。  
 競技監督・計時長の相互確認により決定のこと。

10 分を越えるタイムペナルティは失格とする

元に戻す

OK キャンセル

メニューバーの「設定項目」→「種目名及びレギュレーション」の画面ではタイムペナルティでの失格の点(分)を変更することができます。